

令和8年7月5日執行

滋賀県知事選挙選挙公報

滋賀県選挙管理委員会

滋賀県改造計画！

重点施策！



坂本 正明
さかもと まさひろ
五十七才

「キャッチフレーズ」

- 観光力県 滋賀
- 滋賀の魅力を全世界へ
- 目指すは世界一住みやすい町
- 滋賀県 滋賀から世界へ

（観光力県へ）

- 安土城の再建！
- 大津駅前再構築
- 大津へ決大津間の路面電車の導入！（近江の3号の路面電車！）
- 福祉関係者の待遇改善！
- 介護士・福祉士・保育士への給料の大幅アップ！
- 医療制度の抜本的改革！

（学校教育の抜本的改革！）

- 教育のアウトソーシング化
- 教員の給料大幅アップ
- の働き方改革

（行政大改革！）

- PC/AIの活用により職員、工教備用台70%削減！
- 外国人観光客への環境保全協力金をいたす！

交通税STOP！なにより暮らし最優先 9条守り、憲法を暮らしにいかそう

坪田いくおがチェンジ
2分半動画、公開中！！



坪田 いくお
つぽ た
日本共産党、新社会党 推薦



消費税はただちに一律5%
インボイス廃止を求めます
緊急物価高対策 中小企業への直接支援
賃上げへ中小企業に直接支援で
最低賃金 1700 円
高すぎる国民健康保険料を引き下げ



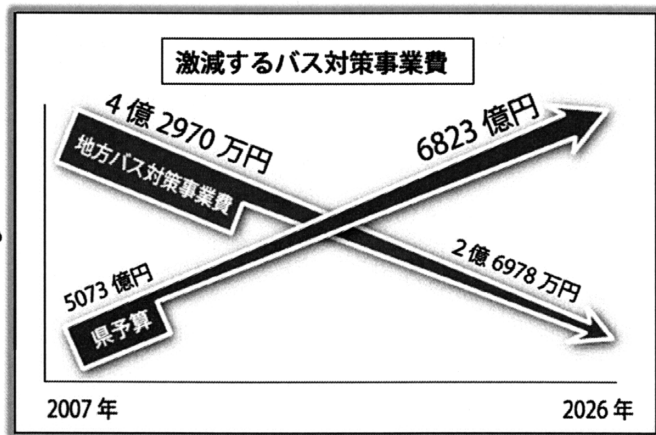
中学校給食を無償化します
学校体育館にエアコン設置
特別支援学校を早期複数校建設



地域医療を守ります
病院のベッド削減、病院再編統合をストップ
県立病院は直営で県民の命を守る
子ども病院の建設



公共交通予算を抜本的に増やします
地域バス路線維持・コミュニティバスへの補助増額
路線確保などの「基金」を創設



「物価高で食費を切り詰めている」「建築資材が入ってこない。このままでは廃業。」「イラン攻撃によるホルムズ海峡の閉鎖で、物価高に拍車がかかり、暮らしの悲鳴が上がっています。しかし、消費税減税や給付金を求める声に背を向けています。」「高市首相は「時は来た」と1年以内に改憲発議のめどをつけると明言。戦争の永久放棄と平和主義を掲げる憲法9条を変えようとしています。」「戦争ストップ」「9条守れ」の声がわき起こっています。」「憲法9条守り、暮らし第一の県政へ、坪田いくおへの一票で、滋賀から変えましょう。」

原発再稼働・新增設反対、再生可能エネルギーへの転換を

プロフィール 1959年生。滋賀大学教育学部卒／近江八幡市立桐原小学校教諭、八幡西中学校教諭／近江八幡市教職員組合、執行委員・書記長などを歴任／日本共産党滋賀県委員会副委員長／明るい滋賀県政をつくる会・常任幹事／近江八幡市安土町在住

投票日 7月5日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

6月19日(金) から 7月4日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

令和8年7月5日執行

滋賀県知事選挙選挙公報

滋賀県選挙管理委員会

滋賀県をもっと元気に!

ともにいきる健康しか

ひとの健康

- “いつでも、どこでも、安心”の地域医療・介護体制づくり
- 健康づくりの推進 → 健康寿命の延伸へ!
- 未来へ紡ぎ育てる福祉滋賀
- 文化・芸術・アートやスポーツを通じた元気づくり → 活かして観光や地域振興につなげる!!
- 魅力ある公園づくり“THEシガパーク”
- 人とすべての生きもの(動植物)との豊かな関わり

ひとづくり

- 子ども・子ども・子ども 子どものために、子どもとともに
- 子どもと若者の夢をはぐくむ
- 滋賀の産業・医療福祉・地域社会を担うひとづくり

次代の健康

- “ジェンダー平等”人権尊重の滋賀づくり
- 多文化共生の滋賀づくり
- 共生(ともいき)の滋賀(社会)づくり
- 平和への取組(戦争の記憶を風化させない)
- 世界とつながり世界から選ばれる滋賀
- 近江商人“三方よし”などの発信プロジェクト
- 死ぬまでともに生きるプログラム

社会と経済の健康

- 滋賀の交通まちづくりの推進
- 滋賀の産業の活性化(イノベーションの推進)
- 社会資本の着実整備(維持管理含む)
- 観光で活力“シガリズム” ■ “北の近江”振興
- 安全・安心の社会づくり

自然の健康

- “マザーレイク”琵琶湖の保全再生 ■ やまの健康2.0
- 生物多様性保全の取組(“ネイチャーポジティブ”経済へ!)
- 地域循環型社会づくり(廃棄物の適正処理含む)
- CO₂ネットゼロ(気候変動・エネルギー対策)

暮らし・経済への緊急対応

中東情勢や物価高騰の影響を踏まえた

ともにいきる「健康しが」基盤づくり

- より良き滋賀の自治(民主主義)の追求(議会とともに)
- 県行政と政策(づくり)のイノベーションへの挑戦
- 広域行政への積極的関与

プロフィール

- 1971年生まれ
- 日吉台小学校、日吉中学校、膳所高等学校卒業
- 一橋大学経済学部卒業後、JR西日本入社
- 松下政経塾23期生として入塾
- 2003年 衆議院議員当選(4期連続当選)
- 国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等歴任
- 2014年 滋賀県知事就任(現在3期目)
- 2022年 関西広域連合連合長就任(現在2期目)
- 2023年 全国知事会副会長就任(現在2期目)

かわいい政策集はHPへ! www.genki1.com



み
か
づ
き
たい
ぞう

三日月大造

無所属 55才

42歳の新しいチカラ、滋賀を変える

元栗東市行政マン

わたしに託してください

● 栗東市生まれ
● 栗東市立葉山中学校卒業
● 県立守山高高校卒業
● 立命館大学経営学部卒業
● 民間企業を経て、栗東市役所に十六年間勤務
● 特技…水泳、空手
● 一児の父

1 交通税反対

数年後から始まる「交通税」は、住民税への上乗せ(課税対象者一人当たり年間約6,000円の徴収)が想定されます。県民の皆さまの可処分所得が減る事で滋賀県の経済を硬直させない、働きがいのある社会を作ることを目指します。

2 県知事の退職金削減

約3,180万円の県知事の退職金。県知事にはこの退職金が1期4年ごとに支払われ、その都度、所得税控除を受けています。これを何期務めても総額800万円の退職金へと改革します。増税せず、自らを律するリーダーを目指します。

3 行政改革 ～伝統と信頼を取り戻す滋賀に～

政治的アピールによる新規部署創設ではなく、堅実な行政運営を行ってまいります。

国際交流見直し	商工中小企業応援	農村振興課への注目	文化財展示コンパクト化
警察・教育委員会と連携した交通安全強化	森林税見直し	ビワイチロードへの投資	
女性も男性もライフコースを選べる社会へ	CO ₂ 課廃止	「ここ滋賀」効果検証	
森林と琵琶湖アピールで環境県滋賀を全国へ	国内外への近江ブランド再発信		



おお
もとし

大すみ

42歳

投票日 7月5日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、

6月19日(金) から 7月4日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)